

# 関係人口について

---

令和元年7月2日（火）

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局

## 関係人口について

### (関係人口)

地域外にあって、移住でもなく観光でもなく、特定の地域と継続的かつ多様な形で関わり、地域課題の解決に資する「関係人口」の創出と拡大を図ることが必要。

東京などの都会と地方との双方向の交流を進めることは、地方にとっても都会にとっても地域の活力の向上につながることから双方にとって有意義。

## 「関係人口」に関する取組・検討の具体的方向性①

【つながりのきっかけづくりや現地での交流機会の創出・拡大】

- 「関係人口」の創出・拡大を図るためには、**地域のニーズと、地域との関わりを  
求める都市住民等とマッチングを支援する仕組み**が重要。
- 地域に対する関心をもった都市住民等を地域と継続的なかかわりをもつ「関係人口」  
にしていくためには、**地域における活動に継続的に参加**してもらうことが有効であり、  
多くの人に**実際に地域に足を運んでもらうための地域側の取組**も重要。
- 関係人口を求めている地域と、地方に関心を有する  
都市住民とをつなぐ仕組みとして、**「関係案内人」、  
「関係案内所」といった、コーディネートを行う体制の  
構築が重要。**
- 全国レベルにおいても、各地域における「関係  
案内人」、「関係案内所」等の取組に関する**情報を  
共有し、ネットワーク化を図る**ことが重要。



## 「関係人口」に関する取組・検討の具体的方向性②

### 【兼業・副業として地域に関わる人材の活用】

- 地方での兼業・副業を希望する都市住民等について、外部の人材を受け入れたい地域の中小企業等と、**地域の実情に即しながら「関係案内人」「関係案内所」が円滑にマッチングしていくためのコーディネート**を行うことも重要。



### 【教育を通じた取組】

- 地方の魅力ある高等学校等への地域外就学等を促進するため、それらの**情報や魅力等の発信を強化**するとともに、都市部の高等学校等に入学した後、**一定の期間を地方の高等学校で過ごすことができるような仕組み**について検討すべき。
- 市町村・高等学校・小中学校・大学・卒業生・民間団体等の多様な主体により構成する**「地域・高校魅力化コンソーシアム(仮称)」**の設置を促進することが重要。

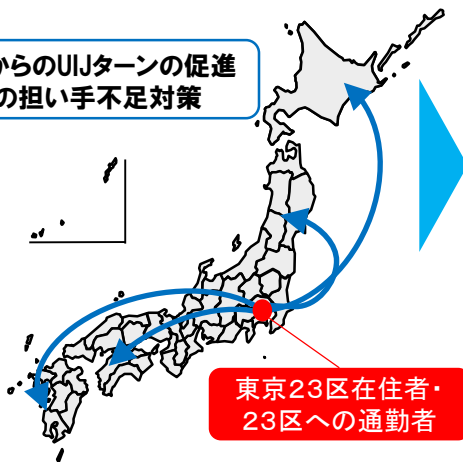


# 「関係人口」の創出・拡大①

## 【地方創生推進交付金によるUIJターンの推進】(2019年度～)

	<b>地方へ移住</b> <small>(東京23区在住者又は23区への通勤者が移住)</small>	
地方での就業	就業した場合 <b>最大100万円</b>	
地方での起業	起業した場合 <b>最大300万円</b> <small>(最大100万円+200万円)</small>	<small>(地方にいたままで)</small> 起業した場合 <b>最大200万円</b>

東京圏からのUIJターンの促進  
地方の担い手不足対策



## ○地方創生推進交付金(移住・起業・就業タイプ) (H31.4.1現在)

<交付対象事業数(1回目採択)>  
・38都道府県(1,034市町村と連携)

※起業支援金・移住支援金の制度を昨年12月に公表したのち、ふるさと回帰支援センターへの相談件数は増加(12月～4月、前年比約13%増)

地域課題の解決や将来的な地方移住に向けた裾野を拡大するため、定住に至らないものの、特定の地域に継続的に多様な形で関わる「関係人口」の増大を目指す。その際、個人と企業の取組を加速。

### 「関係人口」づくりのイメージ

定住／常勤

UIJターンによる起業・  
就業者の創出等

プロフェッショナル  
人材事業等

**関係人口**

農山漁村体験等

交流

### 地方との縁(関係)が、地方での移住先を決める大きな要因

➢地方移住の希望先を選んだ理由と回答割合

- ・自分(または配偶者)の生まれ育った場所だから 35.3%
- ・旅行などでよく行き、気に入った場所だから 32.0%
- ・親(または配偶者の親)の生まれ育った場所だから 13.1%

(出典)平成27年度 地方移住等の実態把握及び今後のあり方に関する調査  
調査結果報告書(平成28年3月) 株式会社日本総合研究所

※地方移住等を志向する者1,552名のうち、地方移住を行いたい場所を具体的に選んだ者634名に関するデータ

# 「関係人口」の創出・拡大②

## ➤ 様々な「関係人口」に関連する取組を加速化

・プロフェッショナル人材事業

・サテライトオフィス・二地域居住



Sansan株式会社 神山ラボ(徳島)

・サテライトキャンパス



慶應義塾大学鶴岡タウンキャンパス

・地方創生インターンシップ



・子供の農山漁村体験



2024年度に小学生、中学生、高校生について現在の取組を倍増

## ➤ 総合的な情報を集約・発信する拠点を全国に展開

① 特定地域との継続的な関わりを求める都市住民等の創出・拡大  
＜「ファン」づくり＞

② 副業・兼業として地域に関わる人材の活用  
＜「しごと」づくり＞



コーディネート拠点  
(関係案内所・案内人)